



おかげさまで創立60周年 感謝をこめて・・・

Rotary 
発行日 2020年4月3日
発行 国際ロータリー第2750地区
東京立川ロータリークラブ
会長 長井 守
東京都立川市曙町2-34-6
小杉ビル802号(〒190-0012)
TEL 042-525-4046
企画・編集 クラブ会報委員会



20019-20年度
会長 長井 守

はじめに本特別号は2020年4月3日(金)、国際ロータリードラーブ・東京立川ロータリークラブの創立60周年記念式典において発行される予定でしたが、「新型コロナウィルス」による世界的な感染拡大により、国内においても政府による各方面への自粛要請があり、それを受けて式典を中止させて頂き、本号も未発行となりました。

本式典には2月末時点での豊久地区ガバナーをはじめとする地区関係者、グループ内会長、会員、並びに清水庄平立川市長、地域諸団体代表等々440余名(内・会員121名含む)の事前登録を頂きました。ご登録に感謝申し上げます。

こうした方々への「友情の証」として、当クラブの60周年PR版として再編集し発行させて頂きました。

ご読頂ければ幸甚です。

一 節 目 地域再生・改元・還暦

東京立川ロータリークラブ
国内創立順位: 388番
創立: 1960年(昭和35年)6月27日
RI承認: 1960年(昭和35年)8月29日
スポンサークラブ: 東京八王子ロータリークラブ
例会日: 毎週金曜日 12:30~13:30
例会場: パレスホテル立川
拡大クラブ: 1962.3 東京府中RC / 1967.2 東京東村山RC
(第2580地区) / 1968.1 東京昭島RC /
1969.2 東京国立RC / 1972.7 東京武蔵村山RC
(第2580地区) / 1986.2 東京立川こぶしRC

また昨年5月1日に元号が「令和」に改元され、本2019年度は令和元年でのロータリー活動ともいえます。そして当クラブはお陰様で創立60周年を迎え、人間でいえば還暦を迎え、再生の節目を迎えました。

はじめに本特別号は2020年4月3日(金)、国際ロータリードラーブ・東京立川ロータリークラブの創立60周年記念式典において発行される予定でしたが、「新型コロナウィルス」による世界的な感染拡大により、国内においても政府による各方面への自粛要請があり、それを受けて式典を中止させて頂き、本号も未発行となりました。

このような様々な節目を捉え、長井守会長は、「クラブの原点回帰」を唱え、「変えてはいけないロータリー」、「変えなければならないロータリー」を念頭に、現在の事業の必要性や、今後の在り方を再考し、且つ若手人財の育成をその所信に込めて発表致しました。

一 次 代 へ の 挑 戰 一

立川市そのものです。垢抜けたバランスのとれた町としてのシンボル色。その面が表す2つの曲線は大空を飛ぶ飛行機の軌跡、そして未来につながるRC活動の飛躍を表しています。

立川飛行場は歴史的に重きものがあります。シビックプライドの一つとして、モニユメント「風に向かって」のシリエットを使用しました。



員公募で採用された、立川駅北口駅前のモニュメント「風に向かって」を模ったデザインから、左記のバナーがクラブ会員投票で4代目バナーとして2020年度から使用されました。

式典準備委員会のA～Z 12ヶ月の模索、今ここに結実！

一般的に周年行事は「実行委員会」を発足させ活動するパターンですが、会議内容の重複回避、会議開催数の削減の観点から、クラブとして初の常設委員会での稼働となつた。昨年4月23日の予定者段階での第1回炉辺会合を皮切りに、延10回の会合を経て本日を迎えた「創立60周年記念式典準備委員会」。

従来の周年行事のパターンを廃し、白紙で臨んだ会合は、「火中の栗を拾う」がごく困難を極めた。しかし、打たれ強い委員達は燃えた!

当クラブ周年行事や近年の他クラブ周年行事への参加での「調査研究」、関係ゲストを炉辺会合に迎えての委員との「意見交換」、そしてクラブ会員の60周年式典に望む「全会員アンケート調査」等の過程を経て会議は進められた。「伝統・格式・変化・革新」を基本コンセプトに、多くの「キーワード」が出ました。

委員長当初のキャッチコピーは「立川の底力」、「次代へ花咲け」でした。



本音バトルの様相で、当初3ヶ月間「生みの苦しみ」を味わう。その後、バトルも時の経過と齢のせいか「トゲ」が無くなったり、丸く穏やかになり、「60周年」いう頭を結ぶ「背骨」が出来、徐々に細部の骨も形成され、付けもされ、本日ここに「お目出鯛」をお披露目することができました。

坂村英之委員長を初めとする彼らの「努力・熱意」は、次なる事業へと伝承されるものと確信いたします。

は「成功すれば委員長のおかげ!失敗すれば委員のせい!」と叫ぶも、中盤以降はラグビーW杯の影響で「ONE TEAMで成功!」に変更された。こんなジョークで笑い飛ばせる委員会へと変貌し、この日を迎えた・・・

1999～2000(第40代)	村野 安成	2010～11(第51代)	豊泉 幸夫
2000～01(第41代)	榎戸 岩雄	2011～12(第52代)	市村 博
2001～02(第42代)	鈴木 祥祐	2013～14(第54代)	大竹茂明
2002～03(第43代)	曽我部 岩雄	2014～15(第55代)	小野千春
2003～04(第44代)	山口 貞夫	2015～16(第56代)	清水千春
2004～05(第45代)	紅林 太	2016～17(第57代)	田中 宏明
2005～06(第46代)	坂村 英之	2017～18(第58代)	尾内 昭夫
2006～07(第47代)	中 山 賢二	2018～19(第59代)	中野裕司
1998～89(第29代)	伊藤 平八郎	1999～90(第49代)	岡部直士
1992～93(第33代)	並木 光治	1993～94(第34代)	石尾 典久
1993～94(第34代)	並木 光治	2009～10(第50代)	太
2007～08(第48代)	坂村 英之	2009～10(第50代)	中 山 賢二
2008～09(第49代)	坂村 英之	2009～10(第50代)	岡部直士
2009～10(第50代)	坂村 英之	2010～11(第51代)	田中 宏明
2010～11(第51代)	坂村 英之	2011～12(第52代)	市村 博
2011～12(第52代)	坂村 英之	2012～13(第53代)	大竹茂明
2012～13(第53代)	坂村 英之	2013～14(第54代)	小野千春
2013～14(第54代)	坂村 英之	2014～15(第55代)	清水千春
2014～15(第55代)	坂村 英之	2015～16(第56代)	田中 宏明
2015～16(第56代)	坂村 英之	2016～17(第57代)	尾内 昭夫
2016～17(第57代)	坂村 英之	2017～18(第58代)	中野裕司
2017～18(第58代)	坂村 英之	2018～19(第59代)	岡部直士
2018～19(第59代)	坂村 英之	2019～20(第60代)	石尾 典久

立川RC『5つのレガシー』

1 立川・サンバーディノ 姉妹市委員会への支援



今年度は日本介助犬協会に会員。
来会者の寄付を贈呈



今年度日本から派遣した3名による例会での帰国報告

1965年から始め、クラブ全員が会員として登録し、事業の支援を継続しています。現在まで立川市からの派遣高校生は200名超となり、青少年の育成・国際親善交流に努めています。

3 みどりのフィールド コンサート

1996年から毎年4月29日に国営昭和記念公園内において、航空自衛隊航空中央音楽隊による



1992年に「優良職業人並びに社会奉仕功労者」表彰としてクラブ会員企業内を対象に実施されてきましたが、社会の変遷とともに現在では他企業、地域内社会奉仕団体にもその対象を広げ顕彰式として実施しています。

4 優良職業人並びに社会奉仕功労者表彰

野外コンサートを開催。祝日のこの日は、市外から多くの来園者も訪れ、緑の芝生で聞く演奏を楽しんでいます。

5 ロータリー家族向け事業の充実

クラブは会員を支えるロータリー家族への慰労と、ロータリーへの理解を深めて頂く為に、7月の「納涼家族例会」、12月の「Xmas家族例会」、そして5月の「親睦旅行」を開催しています。

本事業企画実施は親睦委員会が担当し、周到な事前準備で家族をもてなし、且つ委員会配属の新入会員との融和を図り、結束力をもってい実施されています。

これらの要因は先輩諸兄から後輩へと引継がれ、年々スキルアップされ、クラブの一層の「質の向上」「クラブの強さ」に貢献しています。

2. 会員数の増加

1960年創立当初27名でスタートした会員は50周年で100名、そして60周年を多摩地区最大の会員120超名で迎えました。(写真は2019年7月26日実施の「チームラボ・お台場」前)

その要因は、①会長・幹事・会員増強委員会を中心とした目標設定での増強、②街の発展に伴う企業会員の加入と退会による後任加入の推奨、③J.C.O.



1. 出席率の高さ

当クラブは1973年の統計開始以来出席率は常に90.5%以上を保ち、50周年以降においてはさらに92.86%と上昇し、地区内100名以上のクラブにおいては群を抜く出席率となっています。



★スキーコンペ
毎年冬に「尾瀬岩鞍スキー場」で開催され、会員家族・友人も参加します。今年度も35名



★親睦ゴルフ会
年3回程近隣ゴルフ場で開催し、オープニング参加で5組前後にによるコンペを実施しています。2019年12月第100回を開催。



★水上スキーとBBQ会
山中湖上で水上スキー、バナナボート等を楽しみ、陸ではBBQを食しています。また近年では夏のBBQ会を近隣で行っています。



60周年記念登山は「木曽駒ヶ岳」
2019年10月6日~7日

★会員・家族による作品展
毎年6月に東京立川こぶしRCと合同で開催され、絵画・書道・写真・陶芸、その他多彩な趣味を持つ会員・家族が出品し、会員へ「癒し」を提供し、市民にRCの活動を紹介します。



・・・立川は大丈夫だ!

新たに芽生え始めた事業展開が、70周年に向けて、クラブの次世代ロータリアンのスキルを高め、そして様々なネットワークを構築し、搖ぎ無い組織基盤が継続されるものと確信しております。

前年度においては100%例会9回というクラブでの新記録を樹立。この高出席率の要因は、①出席委員会の受付けでの「接遇力」の高さと欠席者に対する

「マイアップ」の奨励、②SAによるホテル側との季節感を考慮した楽しい食事メニューの提供、③例会時における「老・壮・青」の縦横のコミュニケーションの充実、④プログラム委員会による「メリハリのある」プログラムの提供、そして⑤親睦委員会の各例会・イベントでの会員融和へのフォロー活動、などが挙げられます。

ロータリークラブは例会や炉辺会合だけではなくなかな人を知ることはできません。それ以外の機会をもって親睦交流を図り、眞の「先輩・同輩・後輩」を見つけエンジョイロータリーとすることが大切です。趣味を通してつながる同好会をご紹介致します。

★山歩会（さんぽかい）
環境保全委員会と山好き「山歩会」が共同し、初級者用から中級者向けのコースを選定して、ほど実施されています。

2020年1月31日～2月2日
写真は尾瀬岩鞍スキー場にて
Bへの勧誘、④「立川クラブ愛」会員による取引先等への勧誘等が挙げられます。これらの要因が絡み合って、「クラブの力」となり、多くの事業が展開され絶え間ない活力となっています。

3. 同好会の充実

ロータリークラブは例会や炉辺会合だけではなくなかな人を知ることはできません。それ以外の機会をもって親睦交流を図り、眞の「先輩・同輩・後輩」を見つけエンジョイロータリーとすることが大切です。趣味を通してつながる同好会をご紹介致します。

★山歩会（さんぽかい）
環境保全委員会と山好き「山歩会」が共同し、初級者用から中級者向けのコースを選定して、ほど実施されています。

2020年1月31日～2月2日
写真は尾瀬岩鞍スキー場にて
Bへの勧誘、④「立川クラブ愛」会員による取引先等への勧誘等が挙げられます。これらの要因が絡み合って、「クラブの力」となり、多くの事業が展開され絶え間ない活力となっています。

が参加しました。

★山歩会（さんぽかい）
環境保全委員会と山好き「山歩会」が共同し、初級者用から中級者向けのコースを選定して、ほど実施されています。

こうした会員規模・事業・同好会等で活動する当クラブにも、次代への新事業への芽生えも始まっています。

- 2015～モンゴル共和国への書籍寄贈・・・質の高い教育への支援
- 2016～東京美林俱楽部（運営：東京エンソーズ・桧原村）への支援と植樹事業・・・環境保護への支援
- 2018～人道支援事業
- 「フードドライブ」活動・・・立川市社会福祉協議会・フードバンクと連携し食品ロスの削減に取り組む
- 2019～SDGs 17への啓発活動



・・・クラブは会員へ、同好会への参加・参画を促し、会員の多面性を知つ頂き、親睦交流の一翼を担う「クラブ活性化」事業として応援しています。

次代へ「Restart！」

こうした会員規模・事業・同好会等で活動する当クラブにも、次代への新事業への芽生えも始まっています。

- 2015～モンゴル共和国への書籍寄贈・・・質の高い教育への支援
- 2016～東京美林俱楽部（運営：東京エンソーズ・桧原村）への支援と植樹事業・・・環境保護への支援
- 2018～人道支援事業
- 「フードドライブ」活動・・・立川市社会福祉協議会・フードバンクと連携し食品ロスの削減に取り組む
- 2019～SDGs 17への啓発活動

ています。